

## 平成 22 年度 東京外かく環状道路連絡協議会 環境保全専門部会

## 開催結果

## 1 環境保全専門部会の進め方について

事業の実施状況に応じて着目する環境保全対策を抽出し、現地確認も行いながら、環境保全対策の履行を確認する方向で部会を進めることとしました。

## 2 環境保全対策について

- 施工時における汚濁処理方法及び施工方法については、沈砂池等を設置し沈砂後に放流していること、また、工事現場内においては洗掘防止として法尻部に土嚢を設置するなど濁水への対策、雨水・排水処理対策が適切に図られていることを確認しました。
- クロマツの保全対策については、極力現生育地近くへ移植する考えのもと、工事の進捗により支障となるクロマツについては、工事の支障とならない場所へ仮移植し適切に管理しているとの報告を受けました。なお、地元児童により生育されてきた苗木についても、事業者が適切に管理育成しているとの報告を受けました。
- 工事中の建設機械の使用については、低騒音・低振動型重機を使用していることを確認しました。また、騒音・振動・地下水位・地下水質の観測については、月 1 回実施し、その結果は工事現場周辺に設置してある掲示板を利用して、地域住民に公表していることを確認しました。
- 建設発生土の再利用については、他工事と連絡調整を図りながら有効利用に努めていること、また、工事用車両の運搬経路は、既存の生活道路に進入しないよう事業地内の工事用道路を使用していることを確認しました。
- 工事中の環境保全対策については、粉塵対策として散水養生、シート養生等により対策が図られており、また、騒音・振動対策では、工事用車両の低速走行の徹底が図られていること、仮囲い及び防音シートにより対策が図られていることを確認しました。
- 平成 22 年 11 月 17 日に、矢切函渠部、小塚山トンネル、クロマツ仮移植、工事用仮橋など現地の状況を確認しました。

### 3 都市計画決定権者の見解のフォローアップについて

平成22年度までの状況については、別添、「都市計画決定権者の見解のフォローアップ表」に示すとおり。

### 4 平成22年度東京外かく環状道路連絡協議会環境保全専門部会開催状況

第21回：平成22年 7月20日（火）10：00～11：30

第22回：平成22年11月17日（水）13：00～16：10

第23回：平成23年 3月14日（月）東日本大震災の影響から書面確認